

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)クレアホームズ上安駅前新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)				
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.40		-	3.3
1 音環境					4.0	0.15	3.3	1.00	3.4
1.1 騒音			遮音性能=T-2		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					5.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能					5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温					3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能					3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					2.7	0.25	3.6	1.00	3.4
3.1 昼光利用			住居部昼光率=3.3		3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率					3.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策			住居部:カーテン・庇で昼光を制御		2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御					2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策			内装材は全てF☆☆☆☆を使用		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策					-	-	-	-	
4.2 換気			居室面積の1/6以上の開閉可能な窓面積を確保		3.0	0.40	3.6	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御					-	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.0
1 機能性					2.4	0.40	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ			光インターネットの採用		3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画					1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上り材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上り材の更新必要間隔			床:フローリング、壁・天井:ビニルクロス		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					2.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-			
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
	3	電気設備		1.0	0.20	-	-			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			
	3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0		
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	階高=2.91m	-	-	3.2	0.50			
	2	空間の形状・自由さ		-	-	4.0	0.60			
				-	-	2.0	0.40			
				-	-	3.0	0.50			
	3.2 荷重のゆとり			3.0	1.00	-	-			
	3.3 設備の更新性			3.0	0.20	-	-			
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			
	2	給排水管の更新性		3.0	0.10	-	-			
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			
	4	通信配線の更新性		3.0	0.20	-	-			
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-		2.2	
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-		1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0			
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-				
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4			
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9			
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0			
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0			
3 設備システムの高効率化			BEI	住宅(専有部) 0.92	4.8	0.50	-	4.8		
集合住宅以外の評価(3a.3b)			-	-	-	-				
集合住宅の評価(3c)			LED照明設備の設置	4.8	1.00	-	-			
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0			
集合住宅以外の評価			-	-	-	-				
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-				
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-				
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-				
4.1 モニタリング			3.0	1.00	-	-				
4.2 運用管理体制			-	-	-	-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1			
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0			
1.1 節水			3.0	0.40	-	-				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-				
1			雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-		-		
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-		-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2			
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.10	-	-			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.20	-	-			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			集成材、普通合板	4.0	0.20	-	-			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	2.0	0.10	-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0			
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-				
1			消火剤	-	-	-		-		
2			発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-		-		
3			冷媒	3.0	0.50	-		-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-		3.0		
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率=79%	3.8	0.33	-	-	3.8		
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4			
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-				
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-				
1			雨水排水負荷低減	-	-	-		-		
2			污水处理負荷抑制	3.0	0.33	-		-		
3			交通負荷抑制	3.0	0.33	-		-		
4			廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.33	-		-		
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-		3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-				
1			騒音	3.0	1.00	-		-		
2			振動	-	-	-		-		
3			悪臭	-	-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		-		
1			風害の抑制	3.0	0.70	-		-		
2			砂塵の抑制	1.0	-	-		-		
3			日照阻害の抑制	3.0	0.30	-		-		
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-		-		
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-		-		
2			昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-			